



# 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ユナイテッドアローズ  
 コード番号 7606 URL <http://www.united-arrows.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 竹田 光広  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部部長 (氏名) 中澤 健夫  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日 配当支払開始予定日

TEL 03-5785-6325  
 平成26年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	58,953	4.0	3,491	△20.9	3,553	△20.1	1,958	△19.6
26年3月期第2四半期	56,670	12.0	4,416	△9.7	4,445	△10.4	2,435	△10.9

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 2,047百万円 (△15.8%) 26年3月期第2四半期 2,431百万円 (△8.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	61.51	—
26年3月期第2四半期	76.54	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	61,549	32,083	52.1	1,007.51
26年3月期	59,296	31,532	53.2	990.22

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 32,083百万円 26年3月期 31,532百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	20.00	—	47.00	67.00
27年3月期	—	20.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	58.00	78.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	135,914	5.8	14,119	3.4	14,200	3.4	8,257	4.3	259.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	37,800,000 株	26年3月期	37,800,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	5,956,024 株	26年3月期	5,956,024 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	31,843,976 株	26年3月期2Q	31,823,986 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。  
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。  
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
【第2四半期連結累計期間】	
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から9月30日まで）におけるわが国経済は、政府の経済対策および金融政策によって企業収益や雇用環境に改善が見られ、景気も緩やかな回復基調に向かうなど、徐々に明るさを増しております。しかしながら、不安定な国際情勢に伴う海外景気の下振れ懸念、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動、円安による原材料価格の上昇など、景気後退リスクも依然残っております。

衣料品小売業界におきましては、全国各地での局地的豪雨や相次ぐ台風の上陸などの厳しい天候条件に加え、消費税率引上げ後の節約志向や物価上昇に伴う慎重な購買行動がみられるなど、先行きの不透明感が継続しております。

このような状況の下、株式会社ユナイテッドアローズにおきましては、平成27年3月期の単年度経営スローガンとして「創造的商人魂」を掲げております。お客様にワクワク・ドキドキしていただくことを第一に考え、社員全員が創意工夫し、当社にしかできない付加価値を創造し続けることでブランド価値を高め、4期連続の最高益更新を目指します。

このスローガンの達成に向け、「商品・販売・宣伝部門連携サイクルの徹底強化」を重点取組課題に設定し、さまざまな施策に取り組んでまいりました。

商品部門では、競合他社に対して圧倒的競争力のある商品開発を行ないました。当第2四半期累計期間においては、きれいめテイストやスポーツテイストのトレンドに対応することで、カットソー、スニーカー、スカートなどのヒット創出につなげました。

宣伝部門では、一人でも多くのお客様にご来店いただけるような販売促進活動を推進いたしました。ツイッターやフェイスブックを通じた商品やイベントのご案内に加え、写真共有サービスのインスタグラムを使ったスタイリング画像の紹介など、各種SNSツールを使った情報発信を行ないました。

販売部門では、情熱的な接客とスタイリング提案でお客様にワクワク・ドキドキを提供いたしました。自社運営のネット通販サイト「ユナイテッドアローズ オンラインストア」から実店舗への商品取り寄せサービスの対応店舗を拡大し、オンライン（ネット通販）からオフライン（実店舗）へのご案内を積極的に実施することで、実店舗での接客サービス機会の創出につなげました。

出退店では、ユナイテッドアローズ事業：4店舗の出店、グリーンレーベルリラクシング事業：3店舗の出店、2店舗の退店、クロムハーツ事業：1店舗の出店、スモールビジネスユニット：6店舗の出店、1店舗の退店、アウトレット：1店舗の出店を実施し、当第2四半期末の小売店舗数は223店舗、アウトレットを含む総店舗数は243店舗となりました。

連結子会社の株式会社フィーゴは、小売の伸長等により増収となりましたが、アスペジ等の新規ブランドにかかる宣伝販促費や店舗人件費の増等により減益となりました。出退店ではフェリージ1店舗の出店を実施し、当第2四半期末の直営店舗数は18店舗となりました。なお、通期につきましては増収増益を目指してまいります。

連結子会社の株式会社コーエン（決算月：1月）は、新規出店に伴う増収のほか、展開するマーケットに適した価格戦略の見直しを実施したこと等に伴い、既存店およびネット通販が好調に推移し、増収増益となりました。出退店では6店舗の出店を実施し、当第2四半期末の店舗数は71店舗となりました。なお、通期につきましても増収増益を目指してまいります。

連結子会社の台湾聯合艾諾股份有限公司（決算月：1月）は、直営店の「ビューティ&ユース ユナイテッドアローズ 台北店」を5月にオープンいたしました。なお、当第2四半期末の店舗数は「ユナイテッドアローズ 台北店」を含めた2店舗となります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、新店出店に伴う増収、ネット通販の伸長等により、前年同期比4.0%増の58,953百万円となりました。売上総利益率は円安の影響等に伴い、前年同期から0.5ポイント減の52.7%となりましたが、売上高の伸長に伴い売上総利益額につきましては前年同期比3.1%増の31,079百万円となりました。販売費及び一般管理費につきましては、海外事業・新規事業の先行コストの発生やグループ各社での欠員補充等による人件費の増等に伴い、前年同期比7.3%増の27,588百万円となりました。

以上により、当第2四半期連結累計期間の営業利益は3,491百万円（前年同期比20.9%減）、経常利益は3,553百万円（前年同期比20.1%減）、四半期純利益は1,958百万円（前年同期比19.6%減）となりました。なお、平成27年3月期につきましては、第2四半期連結累計期間まで増収減益の計画となっており、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および四半期純利益は概ね計画に沿った進捗となっております。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比較して1,473百万円(3.8%)増加の40,264百万円となりました。これは、商品が4,809百万円増加した一方、現金及び預金が1,180百万円、未収入金が1,973百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して780百万円(3.8%)増加の21,285百万円となりました。これは、出店などにより建物及び構築物が385百万円、有形固定資産のその他が77百万円、投資その他の資産のその他が190百万円それぞれ増加した一方、償却などにより無形固定資産が46百万円減少したことなどによります。

### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比較して1,570百万円(6.3%)増加の26,691百万円となりました。これは、短期借入金が2,700百万円、支払手形及び買掛金が1,791百万円それぞれ増加した一方、1年内返済予定の長期借入金が681百万円、未払法人税が2,425百万円、賞与引当金が401百万円、役員退職慰労引当金が309百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して132百万円(5.0%)増加の2,774百万円となりました。これは、資産除去債務が131百万円増加したことなどによります。

### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して550百万円(1.7%)増加の32,083百万円となりました。これは、利益剰余金が四半期純利益により1,958百万円増加した一方、配当金の支払により1,496百万円減少したことなどによります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績は概ね当初計画どおりに推移しており、平成26年5月8日発表の業績予想の修正はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,633	4,453
受取手形及び売掛金	245	262
商品	20,026	24,836
貯蔵品	345	406
未収入金	9,904	7,930
その他	2,639	2,379
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	38,791	40,264
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,620	8,006
その他(純額)	1,773	1,851
有形固定資産合計	9,394	9,857
無形固定資産		
その他	1,746	1,700
無形固定資産合計	1,746	1,700
投資その他の資産		
差入保証金	7,422	7,590
その他	1,967	2,157
貸倒引当金	△26	△21
投資その他の資産合計	9,363	9,726
固定資産合計	20,504	21,285
資産合計	59,296	61,549
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,155	10,946
短期借入金	4,400	7,100
1年内返済予定の長期借入金	681	-
未払法人税等	3,421	996
賞与引当金	1,970	1,569
役員賞与引当金	103	-
役員退職慰労引当金	309	-
その他	5,077	6,079
流動負債合計	25,120	26,691
固定負債		
資産除去債務	2,631	2,763
その他	11	11
固定負債合計	2,642	2,774
負債合計	27,763	29,466
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,030	3,030
資本剰余金	4,095	4,095
利益剰余金	30,517	30,979
自己株式	△6,119	△6,119
株主資本合計	31,523	31,985

その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7	21
繰延ヘッジ損益	△1	73
為替換算調整勘定	3	3
その他の包括利益累計額合計	9	97
純資産合計	31,532	32,083
負債純資産合計	59,296	61,549

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	56,670	58,953
売上原価	26,534	27,873
売上総利益	30,135	31,079
販売費及び一般管理費	25,719	27,588
営業利益	4,416	3,491
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	7
為替差益	-	24
仕入割引	25	24
受取賃貸料	19	20
その他	48	42
営業外収益合計	94	119
営業外費用		
支払利息	29	15
支払手数料	0	-
為替差損	3	-
賃貸費用	11	16
その他	19	25
営業外費用合計	65	57
経常利益	4,445	3,553
特別利益		
固定資産売却益	1	19
特別利益合計	1	19
特別損失		
固定資産除却損	44	71
減損損失	222	201
その他	22	8
特別損失合計	289	281
税金等調整前四半期純利益	4,158	3,291
法人税、住民税及び事業税	1,435	912
法人税等調整額	286	420
法人税等合計	1,722	1,333
少数株主損益調整前四半期純利益	2,435	1,958
四半期純利益	2,435	1,958

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,435	1,958
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18	14
繰延ヘッジ損益	△22	74
為替換算調整勘定	-	△0
その他の包括利益合計	△4	88
四半期包括利益	2,431	2,047
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,431	2,047
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,158	3,291
減価償却費	829	874
無形固定資産償却費	92	87
長期前払費用償却額	62	66
減損損失	222	201
賞与引当金の増減額(△は減少)	△629	△401
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△113	△103
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△4	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△4
受取利息及び受取配当金	△1	△8
支払利息	29	15
売上債権の増減額(△は増加)	1,792	2,068
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,934	△4,870
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△505	△163
仕入債務の増減額(△は減少)	2,843	3,177
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△1,490	△324
その他の固定負債の増減額(△は減少)	2	11
その他	28	△32
小計	3,382	3,885
利息及び配当金の受取額	1	8
利息の支払額	△29	△15
法人税等の支払額	△2,321	△3,302
役員退職慰労金の支払額	-	△309
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,032	267
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△6	△6
関係会社株式の取得による支出	△201	-
有形固定資産の取得による支出	△1,538	△1,309
資産除去債務の履行による支出	△10	△5
有形固定資産の売却による収入	2	21
無形固定資産の取得による支出	△127	△84
長期前払費用の取得による支出	△319	△426
差入保証金の差入による支出	△327	△229
差入保証金の回収による収入	184	61
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,342	△1,977
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,300	2,700
長期借入金の返済による支出	△1,592	△681
自己株式の処分による収入	62	-
配当金の支払額	△1,203	△1,494
その他	△0	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	566	523
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△744	△1,186
現金及び現金同等物の期首残高	6,142	5,429
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,398	4,243

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結会計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)  
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結会計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)  
該当事項はありません。